

令和6年度第1回多賀城市子ども・子育て会議 会議録

会 議 名	令和6年度第1回多賀城市子ども・子育て会議
日 時	令和6年7月25日(木) 午後2時から午後4時まで
会 場	多賀城市役所 西庁舎3階 第一委員会室
出 席 者	出席委員：10名 増子正会長、磯部副会長、照井洋美委員、伊藤真美委員、村上秀典委員、中鉢義徳委員、千葉雅弘委員、田中謙委員、富田善信委員、横山好美委員
	欠席委員： 黒川恵子委員、小野敬弘委員、佐々木絵美委員、大谷哲也委員
	事務局： 萱場保健福祉部長、大河内保健福祉部次長兼社会福祉課長、小林子ども家庭課長、今野介護・障害福祉課長、柴田教育委員会事務局次長兼教育総務課長、石田学校教育監、石田子ども政策課長、後藤子ども政策課長補佐兼子ども政策係長、安部幼保支援係長、高橋子育て支援係長、佐々木子ども政策係主査、齋藤子ども政策係主事
	コンサルタント： 株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所 志村氏

会議抄録

1 開会

2 会長挨拶

3 委員紹介

4 議事

(1) 審議事項

ア 特定教育・保育施設等の利用定員について

資料2「特定教育・保育施設等の利用定員について」に基づき、事務局より説明

【質疑・意見交換等の内容】

(質疑・意見交換等なし)

委員長：「特定教育・保育施設等の利用定員について」は、原案どおりに承認することよろしいでしょうか。

― 同：はい。

イ 第3期多賀城市子ども・子育て支援事業計画策定について

資料3「第3期多賀城市子ども・子育て支援事業計画策定について」に基づき、事務局・コンサルタントより説明

【質疑・意見交換等の内容】

(質疑・意見交換等なし)

委員長：「第3期多賀城市子ども・子育て支援事業計画策定について」は、原案どおりに承認することよろしいでしょうか。

― 同：はい。

(2) 報告事項

ア 第2期多賀城市次世代育成支援行動計画（後期計画）令和5年度実施状況について

資料4「第2期多賀城市次世代育成支援行動計画（後期計画）令和5年度実施状況について」に基づき、事務局より説明

【質疑・意見交換等の内容】

委員長：施策 2-2「安全・安心対策の推進」について、登下校の事故や事件に巻き込まれた件数が、令和 4 年度に 12 人、令和 5 年度が 25 人ということでしたが、この内容はこういったものでしょうか。

事務局：主なものは登下校時の交通事故になります。

委員：今の点について、基準値の設定根拠を教えてください。

事務局：令和 3 年度からスタートした第六次多賀城市総合計画で設定した成果指標の内容をこちらの計画でも活用する形で設定しました。

委員：施策 2-1「児童虐待防止対策の強化と人権擁護・心のケアの充実」で、「自分の子ども（乳幼児）に対して、育てにくさを感じている保護者割合」の令和 5 年度実績値が 27.1%ということですが、どのように算出したのですか。

事務局：3 歳児健診の際に伺う項目になります。コロナ禍のなかで、保護者へのフォローが十分にできなかった部分もあり、このような結果になったと思います。

イ 第 2 期多賀城市子ども・子育て支援事業計画 令和 5 年度実施状況について

資料 5「第 2 期多賀城市子ども・子育て支援事業計画 令和 5 年度実施状況について」に基づき、事務局より説明

【質疑・意見交換等の内容】

委員：放課後児童クラブについて、狭い部屋の中で多くの子どもが利用していると感じます。利用者数は夏休みとそうでないときで異なってくると思いますが、一番多いときと少ないときでそれぞれ何人ぐらいいるのでしょうか。また、1 人あたりの床面積の基準は設けられているのでしょうか。

事務局：利用者数については、1 人あたり 1.65 平方メートルという面積基準を満たせるようにしていますが、クラブによっては現状ギリギリとなっています。児童館・児童センターなどをうまく活用しながら対応していますが、今年度策定する事業計画の利用者推計も見ながら、調整していきたいと思います。

委員：教育・保育施設等の量の見込みと確保の実績について、資料を見ると、令和 5 年度には 3 号認定の受入れ枠に不足があり、令和 6 年度には解消されると読めますが、新しい施設が整備されるということでしょうか。また、来年度から 1 歳児 5 人に 1 人の保育士を配置する基準へと変更されるという報道がされていますが、市にそういった情報は入っていますか。

事務局：令和 6 年度の計画につきましては、当初は令和 5 年度に施設を整備する予定でしたので、それを見込んでの値になっていますが、実際にはここまでは整備が進まない見込みです。ただし、3 号認定には今でも待機児童がいる状況ですので、各施設で年齢ごとの定員バランスを少し変えていただいて、3 号認定の定員を少し増やすような働きかけをしています。施設を新

たに整備するかどうかについては、第3期計画の中で人口推計やニーズ調査結果の分析を行い、工夫ややりくりで対応できるのであれば、新たな施設の整備は現状考えていません。二つ目の質問についてですが、来年度以降、1歳児のお子さん5人に対して保育士1人という配置基準へと改正が予定されているようです。我々にも確定的な情報は入ってきていませんが、今の情勢だと来年の4月1日に施行されるという話を聞いています。ただし、経過措置が設けられる動きもあり、基準は5対1だが6対1でも運営は可能とし、基準を満たす場合には公定価格上の加算がされるのではないかと考えられます。

ウ 多賀城市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート集計結果について

資料6「第3期多賀城市子ども・子育て支援事業計画策定に係るアンケート集計結果（速報値）」に基づき、事務局より説明

【質疑・意見交換等の内容】

（質疑・意見交換等なし）

エ 令和6年度の市の取組みについて

資料7「令和6年度の市の取組みについて」に基づき、事務局より説明

【質疑・意見交換等の内容】

委員：放課後児童クラブについて、多賀城小学校放課後児童クラブは学校校舎内へ移転するとありますが、空き教室を活用するということでしょうか。これは、今後の児童減少を見込んで移転するということでしょうか。

事務局：特別支援学級として使っていた場所を、放課後児童クラブとして整備していく方針です。理由としては、現在使用しているプレハブ施設の老朽化が激しいため、移転する方向で動いています。

委員長：その他、お気づきの点などございましたら、その都度事務局の方までご連絡いただければと思います。それでは報告事項は以上で終了とさせていただきますが、委員の皆様から本日の議事に関するご意見、ご感想など、一言ずついただきたいと思います。

委員：子ども・子育てに関して、様々な課題があり大変だと思いました。先程、不妊治療費助成事業のお話がありましたが、周知に協力してほしいということでしょうか。

事務局：不妊治療をしている方へのお声がけや、企業への周知などを想定していました。働きながら不妊治療をしている方や治療を検討している方を応援するために実施していますので、機会があるときにお知らせいただければと思います。事業は、今年の7月から開始されています。

委員：不登校出現率の話がありましたが、令和6年度に私の方に相談が3件ほど

ありました。(※中略) ケースは少ないですが、情報提供していきたいと思います。

委員：アンケートの結果で、未就学の保護者の方は、保育所や幼稚園の先生等に相談する割合が高いですが、小学生の保護者の方は、その半分ぐらいしか先生に相談していないという結果が気になりました。それらの分析についても、今後確認させていただきたいと思います。

委員：アンケートや実績の把握に基づいて、しっかりと計画を立て、子どもたちの幸せの実現に向けて政策をしていることがわかりました。最近、保護者の方が社会的に孤立していたり、または自己中心的な考えを持っている方もいると感じます。親育ち、親を育てるという視点での政策を、ぜひこれからもお願いできればと思います。新規事業の中で、親子関係の構築に向けた支援もあるようですが、そういった支援が必要とされる方は自ら相談に行かないというところもあり、具体的にどう入り込んでいくかも一つの課題になると思います。

委員：保育所や幼稚園などの見込みと確保の乖離の部分や、放課後児童クラブは実際の利用想定人数だけで見れば充足している部分など、数字だけではわからないこともあり、難しいところだと感じました。「こども誰でも通園制度」については、制度が始まったら、量の見込みは本当にわからなくなるという不安も感じながら、聞かせていただきました。自分の子どもも放課後児童クラブに通っています。さまざまなイベントをやっていたり、その様子を先生が写真を見せてくださったりして、とても楽しく過ごしていると思います。数の話もちろんですが、その中で子どもたちがどう豊かに過ごしていくかという点や、制度を利用させていただいているという保護者の意識も含めて考えていかなければいけないと感じました。

委員：自身に小学1年生と5年生の子どもがいます。通学路に信号のない横断歩道や踏切があるため途中まで付き添っていますが、近所の子もで、早い時間に出かけなければいけない子、両親の出勤に合わせて家を出る子も一定数います。学校現場も仕事量が多かったり、各所へ気を使うことが多い中で、子どもの出欠の確認がメールでできるようになったり、週1日は時間短縮授業が設けられるなど、先生方の負担が少しは減ったとは思いますが。子どもたちの安心・安全を支えてくださる学校や幼稚園、保育園の先生方の負担軽減について、市としても各現場を支えていただきたいと考えております。

委員：多賀城市は自然環境がいいのに、残念なことに、子どもたちがあまり外で遊んでいないと感じています。あやめ園周辺は自然が豊かで、昔はカブトムシやクワガタムシもたくさんいました。虫好きな子どもは今もいるので、水場や自然を何とか復元して、自然公園など、ちょっとした自然遊びができる場を構築していただくと非常にいいと思います。

委員：お願いと提案が1件ずつあります。まず、お願いですが、宮城県でも人口減少に入り、地域によっては、民間保育所・幼稚園同士で子どもの奪い合いが始まっているような状況でもあります。多賀城市は公立保育所が2ヶ所になりますけども、各民間施設の在席児童が定員に対していっぱいにな

るように入所者数を調整いただければと思います。もう1点の提案はいじめ問題です。いじめに関するアンケートの取り方についてですが、設問として、悪いことばかりではなく、「自慢したいことがあるか」といったプラス面を伺う設問もあるといいと思います。アンケートの回数や学校で書くのか自宅で書くのか、それを直接先生に渡すのかも検討していければと思います。また、いじめ問題を相談する先生についても、栃木県の県立高校だと思いますが、必ずしも担任や生徒指導の先生でなく、校長先生や教頭先生、話しやすい先生を自分で選んで相談できる制度ができています。そういった制度も検討していければと思います。

5 その他

増子会長より挨拶

6 閉会

磯辺副会長より挨拶